

# ガンバレ！！いしかわ農業の担い手たち！～新規就農者からのメッセージ～

やりたい人が担える農業、そして魅力ある産業へ！

ニューファーマー  
みやぎ まどか  
(株)六星 宮城 円 (32歳)  
プロフィール  
京都府出身。  
新潟大学農学部在学中から各地の農家・農業法人を積極的に訪ね歩き卒業後、石川県白山市の(株)六星に就職という形で新規就農する。  
水稻・野菜栽培から餅加工、販売等の多岐にわたる仕事を経験した後、現在は野菜作り担当、直売所店長、営業部直販課担当を兼任。  
平成19年度より取締役役に就任し経営の一角を担い、モノづくり、組織づくりを担当。



就農してから現在まで

農業法人に就職という形で就農したため、初年度は水稻栽培から野菜栽培、餅加工にデパート販売等ひと通りの仕事を経験しました。そんな中で一年目から野菜栽培を任せられ、有機無農薬栽培を意気込んで取り組みましたが、病害虫や生育障害等で見事に壊滅状態となりました。その反省を活かし、2年目以降は自分なりに施肥設計を行い必要最低限の農薬使用のルールを作り確実に品目・面積を増やして現在では年間約30品目、延べ3haの野菜を栽培する園芸部のリーダーを担っています。

また、入社当初から六星の立地条件のよさに目をつけて、「これからはもっと地元のお客さんを大切に育てていかななくてはならない」と訴え続け、5年前より直売所の店長を任せられ、2年前の大幅リニューアルを経て「5年で年間1億円売店にする」という目標を達成しました。そしてH19年の株式変更の折に取締役の一員となり、経営に携わる一方、もっとお客さんに愛される「六星」であるようにと、営業直販課のリーダーとしてお客さんとの共感と信頼の絆を築ける関係を目指した営業活動にも尽力しています。

就農のきっかけから実際の就農まで

農業とは縁もゆかりもなかった私がなぜ農業なのか、それは人に勧められて入学した新潟大学農学部での勉強のおかげ、ではなく、学生時代にアルバイトをさせてもらった農家の方の生き方が単純にかっこいいと思ったことがきっかけで、いざ就職となったときに、「せっかく縁あって農学部に入ったのだから、何か農業に貢献できる仕事がしたい、後継者不足というなら自分が後継者の一人になってやる」という気持ちで農業を志しました。

ただ、その頃の新規就農支援というのは今ほどしっかりと整っていたわけではなく、農地も金も経験もない学生上がりにはやっぱり無理かと諦めかけていました。そんな折に第一回のニューファーマーズフェアが東京で開催され、そこで出会った農家・農業法人さんのところを訪ね歩き、語り合い自分なりの農業観を固めて、一番自分を活かして農業に取り組める場所として現在の(株)六星に就職しました。

将来はこんな農業をめざします！

農業をやりたい人間が農業を担える環境をつくり、その人間の力で農業を活気ある魅力的な産業に変え、未来に引き継ぐ。

今後就農を目指す人へ

「農業くらいならできる、農業でもやってみよう」そんな甘い考えで農業の世界にやってこないで下さい。どこへ行っても何をやっても上手くいく、それくらい人間力を持って農業に取り組めば、形は人それぞれいろいろあるでしょうが、その人なりの幸せな農業が確立できるはず。自分の成功イメージをしっかりと描くこと、それに向かって信念を曲げず邁進すること、どの分野でも共通する成功の法則だと思います。ぜひ農業で成功して、一緒に農業を盛り上げられたらいいなと思います。

農林事務所所長よりひとこと

32才で取締役兼店長ということで、モレツ社員(古いか?)をイメージしていましたが、話しぶりはあくまでも物静か。しかし、10年間の中身はやはり過激で、年間売上約10倍増の1億3千万円という成果もしっかり出しています。店長就任前に提案した企画書がホワイトボードに残っておりチラリと見せて頂いたところ、農家レストラン等、枠にとらわれず経営全般にわたるスグレモノ。会社を乗っ取るというのは物騒ですが、その心構えで次の獲物に向かってレッツ・ゴー！！